

2-B-2.

大型製品（分析機等）の鉄道輸送

＜オリンパスロジテックス（株）＞

1. 概 要

シフトした輸送機関	トラック ⇒ 鉄道
輸送ルート	川崎市 → 全国（沖縄を除く）
主な対象貨物	精密機器
導入時期	2002 年 4 月
荷姿	バラ・裸貨物 段ボール箱
出荷頻度	1 ヶ月に 1 回以下

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 輸送コストの削減
- ・ 環境問題への対応

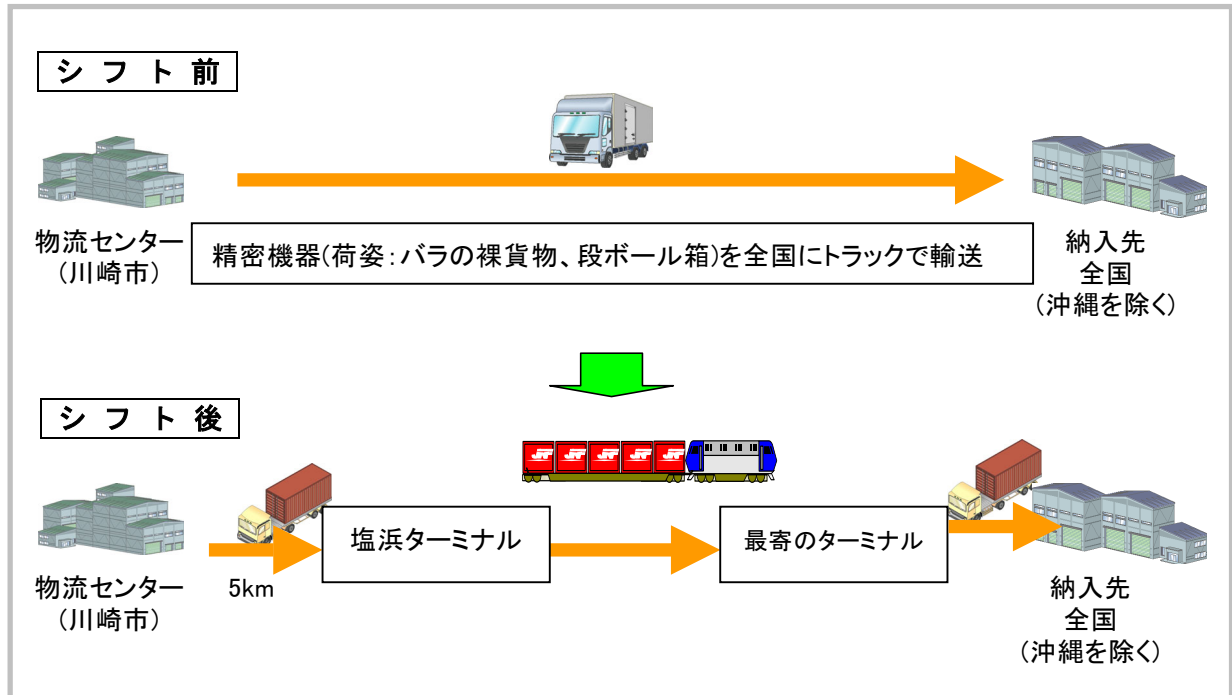
2) 狙い

- ・ 輸配送費用の低減
- ・ 国内輸配送の見直しによるCO₂ の削減

3. 対策効果

項 目	対 策 効 果 (実施前を 100 とした場合の実施後の数値: 実施後／実施前×100)
トラック台キロの対策効果	△5,360 台 km (2003 年度削減実績)
燃料使用量(又はCO ₂ 排出量)の対策効果	△2,181kgCO ₂ (2003 年度削減実績)

4. 業務内容



5. 課題

当初もくろみより、実績が少ない。以下理由。

- ・ 納品日の確保ができない。生産～指定納品日まで鉄道利用だと間に合わない。
- ・ 最寄の駅から納品場所まで距離がある場合はトラックがコスト安。
- ・ 大型製品3台以上はトラックがコスト安。2台までなら鉄道がコスト安。